

東日本大震災福島県復興ライブラリー

# ブックガイド

No. 6

2013.12.6

## ■原子力問題 過去の原発事故

『ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ 原子力を受け入れた日本』

田口 ランディ／著 筑摩書房 2011.9 LS543.4/T10/1

イデオロギー対立に組み込まれた、原発反対派と推進派の深く断絶してしまった関係が、核や原子力そのものをめぐる議論にどのような影響を及ぼしたのか。核の問題は、政治・宗教・民族・思想など、どのような対立にも利用してはならず、いかに困難であろうとも、冷静に根気強く、対話によってのみ合意を導かなければならないという著者の強い意志が伝わります。原発事故からの復興、そして核や原子力に関わる本質的な問題を解決するために必要な、視点と議論のありかたが提示されています。

## ■福島第一原発事故

『福島と原発 誘致から大震災への50年』

福島民報社編集局／著 早稲田大学出版部 2013.6 LS317.7/F1/30

「地方にとって、福島県にとって、原発とは何だったのか。」を問う地元紙「福島民報」の長期連載企画。原発誘致と地域振興、行政と電力マネー、原発訴訟、安全対策と事故の発生・対応等…細やかな取材と県民の視点に立ったアプローチが全体を引き締めています。同社は東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の一連の報道で「平成24年度新聞協会賞」を受賞しました。

## ■文学・体験記

『シャッター商店街と線量計』

大友良英／著 青土社 2012.12 369.36/オ3 12Z

福島に関わりを持つミュージシャン・大友良英氏を中心にした6つの対論を収録しています。脚本家・渡辺あや氏とは、阪神大震災後15年というモチーフを題材にした映画や、地方都市の誇りなどが話題にあがります。また、福島の復興について、「短期的展望で絶望に陥らず長期的視点での復興を」と主張する、福島と趣味の音楽を通じてのゆかりを持つ一橋大学教授・猪飼周平氏の寄稿や、原発事故後、北海道に拠点を移しながら福島に根を持つ果樹農家・安齋伸也氏の声などは、膠着状態の思考を異なる次元へと飛ばせてくれる言葉のひとつとなるのではないのでしょうか。

『想像ラジオ』

いとう せいこう／著 河出書房新社 2013.3 913.6/イセ 133

東日本大震災をテーマとした小説。主人公芥川冬助は想像力の中だけでオンエアされる「想像ラジオ」のパーソナリティを務めています。高い杉の木の上から放送をしていますが、それにはある理由がありました。死者と生者、そして両者の想いはどちらか一方だけでは存在し得ないものであるという部分が印象に残ります。著者にとっては16年ぶりの小説。震災をテーマに扱うことは難しいことだと思われそうですが、書かずにはいられなかった著者の思いが込められているように感じます。本作は第149回芥川賞の候補作にもなりました。

『それでも三月は、また』

谷川俊太郎／[ほか]著 講談社 2012.2 918.6/タシ 122

国内外の作家や詩人17人が、3.11から題材を得て記した作品のアンソロジーです。被災者やボランティアを主人公に据えたものから、直接的には震災との繋がりが描かれていない話、放射能汚染を厳しく捉えた悪夢のような作品まで、アプローチの仕方はまさに17人17様というべきものですが、何かを考えるきっかけになるという点では共通していると感じます。作家の想像力にぜひ触れてみてください。

■各組織の震災対応

『ふくしまに生きる ふくしまを守る 警察官と家族の手記』

福島県警察本部／監修 福島県警察互助会 2012.11 LS317.7/F1/30

東日本大震災と原発事故に際した福島県の警察官とその家族、他県からの応援部隊の体験記。眼前に広がる傷跡に対する「無力さ」、放射線被ばくへの「恐怖」、「不安」、マニュアルのない真剣勝負の日々を素直な気持ちで綴っています。「使命感」…なんて生易しい言葉では片づけられない「覚悟」を感じる一冊です。

■子ども向け

『ハイパーレスキュー災害現場へ走れ!』

深光富士男／著 佼成出版社 2013.6 317/7

1995年の阪神淡路大震災を機に、大災害への対応に特化した「消防救助機動部隊(通称:ハイパーレスキュー)」が発隊されました。2011年の東日本大震災の時も、彼らは福島第一原発の燃料プールへの放水任務に出動しています。放射線量が高く、長時間の作業は難しいと言われた現場では、津波の影響などで想定外のハプニングが連続しました。それでも、日頃の訓練で鍛えられた瞬時の判断力とチームの団結力で、彼らは見事任務をやり遂げたのです。当時の様子を語る隊員達の言葉からは、緊迫感だけでなく、彼らの確固たる信念と日々の努力に裏打ちされた自信をも感じ取ることができます。